

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム にこっこ 中野教室

(児童発達支援)

公表日： 2025年 3月 31日

利用児童数： 44

回答数： 27

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の部屋は狭いため、体を動かす活動ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育の時間に、お子さまの部屋が固定しないようにしていきます。 ・お子さまの状況と活動に合わせて、スペースや部屋の活用について常に検討し、割り振りをしています。理由をご納得いただけるように十分説明していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことに前向きになり、挑戦できるようになりました。 ・言葉が増えてきました。 ・回数を重ねる毎に集中する時間や自分で想像する力が伸びてきて座れるようになり、成長が見られて嬉しい。 ・名札とプログラム用紙が置いてなかったり、次回、次々回の日付がずれていることが度々ある。 ・HPには言語聴覚士がいると掲載されているが、実際にはいなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム用紙等に、記入間違いがないようにスタッフに注意喚起をするとともに、ダブルチェックを実施していきます。 ・本年度は、言語聴覚士が在籍することができませんでした。そのため、他の教室をご案内する対応をしております。ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。来年度は在籍する日を確保するように努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	1	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	3	1	0		
保護者へ	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特徴がわかり、こぼれ掛け方や対応の仕方について相談できて子育ての不安が軽くなった。 ・子どもの行動の意味をきちんと理解してあげられてなかったことに気づけた。 ・些細な変化や成長に気づくことができるようになった。また、自分が気づかないことも指摘いただけて、子どもの成長を実感できることが一番の喜びとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまへの支援だけでなく、ニーズに合わせてご家族への支援も丁寧に行っていくように引き続き努力していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	3	0	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	3	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	2	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	3	3	4	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2	0	2	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	0	0	3	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2	1	5	<p>・感染症対策について不安がある。</p> <p>・年度の途中で入った方には必ず感染対策などについて説明いたします。タイミングとしては、契約時もしくは個別支援計画の説明時に行います。</p> <p>・年間の運営のスケジュールをお渡し・掲示していくことも合わせて検討していきます。</p>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2	1	6	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2	1	5	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	1	6	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	0	0	0	<p>・満足度に関して、年度の最後だけでなく、途中でも聞きとる場を設けていきます。</p> <p>・引き続き、安心感や期待感を持って来ていただける教室になれるようにスタッフ一同で努力をしていきます。</p>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	2	1	0	

事業所名 発達支援ルーム にこっと 中野教室

(児童発達支援)

公表日： 2025年 3月 31日

回答数： 12

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・他の教室と連携して、職員配置について対応している。 ・入口に階段があるが、職員が必ずついて対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、適切な環境や体制の整備に努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に4回、日曜日にスタッフ研修の機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を受けることは今後の改善点である。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	4		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな活動をしているかを、スタッフ間で共有し、様々な活動を知る機会としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育後に、振り返りの時間が取れない日もあるが、そのような時には必ず記録として残し、後日、それぞれの見立てや感想を確認できるようにしている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている	11	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されて	12	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1		

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別やグループの振り返りの時間に、保護者からお子さまの発達状況と共に、日常生活に関する聞き取りをしている。 ・必要に応じて、他機関との連携を電話や対面で積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携にあたっては、必要性があるかどうかを検討すると共に、必ず保護者の了解を得てから連携することとしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	28	(センターのみ回答)				
	29	(センターのみ回答)				
	30	(センターのみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	8		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2			
保 護 者 へ の	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについて、再度職員間で話し合い、意識を高めていく。 ・個別支援計画の説明にあたっては、引き続き、時間を十分に確保するとともに、担当者から丁寧にお伝えしていく。 ・グループの振り返りの機会を利用して、保護者間の交流が深まるよう促進していく。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6		

の 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	1		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアル等はファイルにまとめ、保護者も閲覧ができるようにしている。 ・毎年、避難訓練を実施している。 ・感染症予防のため、嘔吐処理研修も実施している。 ・食物アレルギーや医療機関受診の有無に関しては、生育歴シートに記載していただくことで確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬やアレルギー等に関して、保護者への確認を確実にしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2		

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	発達支援ルーム にこっこ 中野教室		事業種類	児童発達支援
保護者評価実施期間	2024年 12月 20日 ～		2025年 1月 7日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)	27
従業者評価実施期間	2025年 1月 16日 ～		2025年 2月 13日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
各スタッフが専門性を発揮して支援に取り組んでいる。また、独りよがりにならずに、利用者の状況や活動内容をシェアしながらサポートできている。	些細なことでもスタッフ間で話し合っ、多職種の視点も取り入れようとしている。また、丁寧に子どもの課題や成長点を伝えるようにしている。	自身が担当するお子さま以外の療育場面を見学し、学び合う機会を設ける。
教室の規模が小さい分、スタッフ全員が全てのお子さまのことを概ね把握できている。そのため、スタッフと保護者が子どもの成長を見守る体制が作りやすい。	振り返りの時間だけでなく、ちょっとした時間に子どものことを共有しようと心掛けている。また、曜日が異なるスタッフとも共有することを意識している。	情報共有のために引き継ぎ用のノートを導入し、全員が見ていつでも確認できる状態にしていく。
スタッフが幼児から小学生までの支援に関わっているため、一貫した支援ができる。また、幼児期から学童期まで見通しを持った支援が提供できる。		スーパーバイズを受ける等、より良い療育を検討していく。

事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
新しく利用を開始された保護者には、教室の年間の流れがわかりにくい。	周知の機会がない。	保護者へ説明のために、わかりやすく視覚的な年間予定表の用紙を作成し、お渡しすることを検討していく。
感染症や災害時の対応等が利用者、保護者に周知されていない。また、周知されづらい。	設備としては、窓がない、部屋が少ない、人の移動経路が限られている等の不自由さがあるため、創意工夫が必要。 感染症が流行る時期や避難訓練の実施時期のみでの周知に留まっている。	感染症対策として、サーキュレーターや加湿・空気清浄機を設置しているが、それにくわえて時間ごとに換気をする。 危機管理に関するファイルは、待合室にて閲覧できることを保護者に周知する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム にこっと 中野教室

(放課後等デイサービス)

公表日： 2025年 3月 31日

利用児童数： 14

回答数： 8

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2	0	0		引き続き特性に応じて、わかりやすく安心して活動できるような場所をこれからも提供していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0	保護者の付き添いや見学の仕方の自由度を上げてほしい。	お子様の理解や手立てを、保護者の方と一緒に考えながら進めていくという支援方針を大切に運営しております。ご理解を頂きますようお願いいたします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	3	0		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0	・説明や相談の時間ももっと欲しいです	・平日午前中のような、お子さんが小学校に行っている時間に、面談や相談の時間を提供していきます。 ・療育後の話し合いの時間を、より充実した時間になるように適切に対応していきたいと思います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	2	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	6	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	0		毎年子どもの安全を確保するために避難訓練の時間を確保していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0	・毎週楽しみに通っています。 ・苦手なこともやってみようと思えるようになりました。	・より皆さまのご満足いただけるように努力をしています。 ・これからも安心できる場所を提供していきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	1	0	0	・学校への行き渋り完全不登校から不安が強くなりグループ療育に行けなくなりましたが、その後の対応を相談して個別療育や運動療育も取り入れ少しずつ元気を取り戻し継続できるようになりました。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 発達支援ルーム にこっと 中野教室

(放課後等デイサービス)

公表日： 2025年 3月 31日

回答数： 9

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> 療育活動の内容や療育担当者の専門性によって、使用する部屋や教材を使い分けしている 分かりやすく視覚支援を提供している 	<ul style="list-style-type: none"> 限られたスペースの中で工夫して使用していく。 安全性に配慮して、大人が常に見守るようにしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 法人や教室内で研修を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価の機会を設定することは、今後の課題としていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> お子さまに合わせたプログラムを提供しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせや振り返りを通して、引き続き、お子様の理解を深めるために丁寧な話し合いをしていきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	8	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	・必要に応じて関係機関との連携がしやすくなるよう、適切に書類を作成している。	・外の関係機関との関わりについて、スタッフ間で共有や周知をする時間をより多く設ける。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	・日ごろから複数のスタッフで情報を共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	3		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	8		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	9		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		

	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・グループ後の振り返りの時間では、保護者同士で共有する時間と、個々で共有する時間を設けるようにしている。	・支援計画の説明の際には、面談などを通してより丁寧に説明する時間を作る。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機材を設ける等の支援をしているか。	2	7		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・非常時を想定した避難訓練を毎年行っている。	・ヒヤリハットなどを周知して、安全で安心に過ごせる教室環境を常に振り返り、検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	2		

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	発達支援ルーム にこっと 中野教室		事業種類	放課後等デイサービス
保護者評価実施期間	2024年 12月 20日 ~		2025年 1月 7日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	8
従業者評価実施期間	2025年 1月 16日 ~		2025年 2月 13日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
各スタッフが専門性を発揮して支援に取り組んでいる。また、独りよがりにならずに、利用者の状況や活動内容をシェアしながらサポートできている。	些細なことでもスタッフ間で話し合っ、多職種の視点も取り入れようとしている。また、丁寧に子どもの課題や成長点を伝えるようにしている。	自身が担当するお子さま以外の療育場面を見学し、学び合う機会を設ける。
教室の規模が小さい分、スタッフ全員が全てのお子さまのことを概ね把握できている。そのため、スタッフと保護者が子どもの成長を見守る体制が作りやすい。	振り返りの時間だけでなく、ちょっとした時間に子どものことを共有しようと心掛けている。また、曜日が異なるスタッフとも共有することを意識している。	情報共有のために引き継ぎ用のノートを導入し、全員が見ていつでも確認できる状態にしていく。
スタッフが幼児から小学生までの支援に関わっているため、一貫した支援ができる。また、幼児期から学童期まで見通しを持った支援が提供できる。		スーパーバイズを受ける等、より良い療育を検討していく。

事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
新しく利用を開始された保護者には、教室の年間の流れがわかりにくい。	周知の機会がない。	保護者へ説明のために、わかりやすく視覚的な年間予定表の用紙を作成し、お渡しすることを検討していく。
感染症や災害時の対応等が利用者、保護者に周知されていない。また、周知されづらい。	設備としては、窓がない、部屋が少ない、人の移動経路が限られている等の不自由さがあるため、創意工夫が必要。 感染症が流行る時期や避難訓練の実施時期のみでの周知に留まっている。	感染症対策として、サーキュレーターや加湿・空気清浄機を設置しているが、それにくわえて時間ごとに換気をする。 危機管理に関するファイルは、待合室にて閲覧できることを保護者に周知する。